

令和6年度 中京こども園 事業実績報告

(活動目標)

- ① 認定こども園の安定した稼働化。
- ② 園運営および給食費等の収支安定化。
- ③ 保育者の質を高める計画的な研修の実施。(保育士のメンタルヘルスにも重点を置く)

(事業 実績)

① 認定こども園の安定稼働化。

- ・第三者委員会を年3回実施。参観・園の実態を資料で提示・意見交換を通して本園の運営について様々な視点から賛同や改善策を得ることができた。
- ・保育現場の状況を保育者と常に確認し合い、職員が安心して園児や保護者と向き合うことができるよう定期的に人員配置の環境を見直したり、大学教員の助言を受けたりして、職員が安定して業務に臨むことができるよう努めた。
- ・市役所など行政等の事務連携手続き対応の年間計画を園内で立案した。同時に提出書類の作成・確認・決済の役割分担を明確化させたことで、円滑に業務を進めることができた。
- ・ICT（ルクミー）を有効活用することができた。職員の業務改善とともに毎日子育てで忙しい保護者のニーズにも合致した。課題が出た際には、改善策を打ち出し、実践に努めたことで保護者の満足度向上に繋がった。また、保育者の心のゆとりにも繋がり、子どもと向き合う姿勢や子どもの捉え方に変化のあった1年となった。

② 園運営および給食費等の収支安定化。

- ・園児募集における教職員の役割分担化を図ったが、担任業務を進めながらの分業に難しさがあった。一方でこども園 HP リニューアルに向けて、日頃の担任業務の内容が園児募集にも波及し、プラスの要素になることを全職員で再確認することができた。このことを踏まえ、令和7年度以降の園児募集では『保育』と『園児募集』を別枠で考えるのではなく、日々取り組んでいる保育を有効活用し、園児募集に関する年間計画の立案、実践を図る。
- ・年度途中の入園児はいたが、利用定員の充足には満たなかった。保護者に選ばれる園として、保護者ニーズの洗い出しや園の情報発信、園外マルシェなど具体策を計画に盛り込んでいく。
- ・園バス利用者数と運行状況を鑑み、園バス3台中1台を売却に踏み切った。同時に老朽化した公用車を更新。令和7年度バス利用者数及び運行状況を鑑み2台中1台の売却を検討中。
- ・給食献立の栄養面、質・量を調理員と園関係者とで定期的に振り返った。夏季や冬季の休暇における利用園児数を調査、園長・主任・調理員で検討し、フードロス減らす観点に努めた。

③ 保育者の質を高める計画的な研修の実施。(保育士のメンタルヘルスにも重点を置く)

- ・昨年度の振り返りから、朝夕子どもたちの保育の受け入れと引き渡しは、スムーズに行われており、毎月のシフトにて人員配置を工夫し保育者同士のコミュニケーションが活発になった。保育者の心の安定のため、孤立させない環境を整え、折を見て職員のメンタルヘルスにも注視・サポートに努めた。
- ・計画的に園外研修に参加した。また、園内では必要に応じて(職員の希望で)主任を中心に研修を企画・展開した。また、適宜大学教員の助言を受けることにより、保育者自身のスキルアップにも繋がった。
- ・未満児保育と以上児保育のスキル体得研修について、中京けいめい保育園と中京こども園2歳児担当者を中心に交換研修を実施。以上児担当職員においても、令和7年度土曜日保育がこども園・保育園合同で実施することを踏まえ、幼児と乳児の関わり方を実践で学ぶ研修を不定期で実施。また、こども園・保育園の職員同士が連携施設の職員であることを今一度確認し合い、教育保育方針の共通理解を図った。